

避難所80人に鮭の粕汁提供

石川・野々市市農業委員会



鮭の粕汁を提供する農業委員

【石川】野々市市農業委員会の被害は甚大。震災により被害を受けた能登半島地震で被災した同市に避難している輪島市鶴巻地区の住民に鮭の粕汁を提供した。
粕汁の材料は農業委員らで準備し、野菜は野々市市産のものを使用。野々市市保健センターで調理が行われた後、市内2カ所の避難所、約80人の被災者に粕汁が振る舞われた。
同市農業委員会の佛田弘弘会長(63)は「能登の農家や農地

の被害は甚大。震災により被害を受けた能登の方々へ農業委員会として何か力になりたい」と支援の趣旨を話す。農業委員の江藤万紀子さん(71)は「被災者からの『おしいかった』という言葉はうれしい。実施してよかった」と笑顔で話す。
粕汁の提供を受けた鶴巻地区の避難者からは「寒い日が続いているので体が温まる。本当にありがたい」と感謝の声があがっていた。

農業イノベーション実践場へ「あぐらって長岡」がリニューアル

新潟・次世代農業推進拠点施設



ドローンの操作体験(22年8月9日)

【新潟】農業体験施設として市民に親しまれてきた、ふるさと体験農業センター「農の駅・あぐらって長岡」が4月2日、次世代農業推進拠点施設としてリニューアルオープンした。

今後は農業用ドローン、ラジコン草刈機などのスマート農業機器や、最新技術を取り入れた次世代園芸施設での実証実験などを実施する。ICTを活用した農業の省力化や食品加工による高付加価値化を後押しし、市内農家の経営強化をめざす。

野菜の戦略組織、検討を本格開始

農業発展、経営安定へ一丸で

長野・川上村

【長野】平均標高1300メートルの川上村は、夏でも冷涼な気候を生かした高原野菜の生産が盛んで、中でも夏秋レタスの出荷量は全国1位を誇る。
農業が盛んな川上村では近年、野菜価格の低迷や経費の高騰、後継者不足などの課題を抱え、将来の不安から離農する農家も増えている。

こうした中、村は農業の課題に対し村一丸で対応しようと、2023年度から川上村野菜生産販売戦略協議会(会長11由井明彦村長)での検討を本格的に開始した。
協議会は、村内3農協や生産者団体のほか同村農業委員会(堀込敏明会長)がメンバー。こうした課題のほか、レタスや白菜に代わる新品目の検討、農業に関する企業の誘致など、さまざまなことを話し合っている。

能登地震、被災者に炊き出し

スマホで野生鳥獣を捕獲

京都・和束町

【京都】府南部の和束町は、茶業が基幹産業で、山林が全体の7割以上を占める中山間地域のため、シカ、サル、イノシシなどの野生鳥獣による農作物被害が問題となっており、毎年度、町の

事業として捕獲対策に取り組んでいる。町内2カ所に設置した大型のICT捕獲檻は、スマホで現場の映像を確認しながら遠隔操作で捕獲する仕組みで、昨年度は、シカ8頭とイノシシ1頭を捕獲した。



町内に設置した大型檻

設置。その成果もあり、近年はサルの被害が減少している。町では、農業者の営農意欲を維持するために、本年度も野生鳥獣の捕獲に力を入れている。

ジャバラの村に新商品「邪払蜜酒」が発売、好評

和歌山・北山村



邪払蜜酒のPRポスター(北山村提供)

【和歌山】全国唯一の飛び地の村として知られる北山村では、特産柑橘の「ジャバラ」を使った新商品「邪払蜜酒」の販売がスタートし、話題を呼んでいる。
原料にとことんこだわり、加水や酸味料による調整を一切行わず、日本酒、蜂蜜、ジャバラ果汁、ジャバ

ラエキスだけで商品化した。価格は720ミリ入り1瓶が3850円(税込み)。
ジャバラは、ユズやダイダイ、カボスの仲間「邪を払う」という縁起の良い柑橘類。近年では、花粉症に効果があるとの研究結果が発表されるなど、消費者の注目を集めている。

同村では、村おこしの一環として特産のジャバラを使った商品開発に力を入れており、昨年10億円かけてジャバラの加工場を整備した。
村では「商品の販売を通じて、多くの人にジャバラの里をPRしていければ」と話している。

農地利用の最適化へ

総会で申し合わせ

愛知県農業会議

【愛知】県農業会議(川上正一郎会長)は3月27日、県三の丸庁舎で臨時総会を開き、総会議案の審議に続いて「農地利用の最適化の推進に関する申し合わせ」を満場一致で決議した。農地を確保し、有効利用して将来に引き継いでいくため

①農業委員会の体制整備
②農業委員と推進委員による現場活動の強化
③農地利用の最適化の推進に関する申し合わせを満場一致で決議した。農地を確保し、有効利用して将来に引き継いでいくため

その後の研修会では、市町村が策定する地域計画に農業委員会がどう関わっていくべきかを議題に、目標地区の県内での作成進捗状況などが説明

農業委員会活動の事例を聞く出席者

田中選手(左)に贈呈する竹内さん



中日本版

各地の話題

兵庫 播磨農高生

Vリーガーに鶏肉贈呈

育てた「ひょうご味どり」、活躍選手に

【兵庫】播磨農高の約2倍となる100日の飼育期間を経てじっくり育て、歯ごたえのある肉質が特徴だ。試合は3対0でヴィクトリーナ姫路が勝利し、プレゼンターを務める同高の竹内優貴さんが、最も活躍した選手として姫路の田中咲希選手を選出し、贈呈した。

竹内さんは「ひょうご味どりは、ひょうご味どりは、1991年に県立農林水産技術総合センターが開発したブランド鶏。通常の鶏

農年加入推進を先導

岐阜・高山市農業委員会

好成績を挙げ、PR期間加入目標4人に



加入推進資料を持つ鴻巣会長(写真提供)高山市農業委員会

【岐阜】農業者年金の加入推進に力を入れる高山市農業委員会(鴻巣明久会長)は、年間加入目標4人に

の周知と好機を逃さず声をかけを行うこと。JAひだと対象者をすり合わせ、利用するJA支店からチラシ配布や、農業者の集いでPR、4日クラブなど説明、声かけにより認知度向上につなげた。

さらに、昨年12月の家族経営協定調印式で制度説明と声かけを行い、後継者や夫婦加入の流れをつくり、若い農業者14人の加入につなげた。

主力品目であるトマト、ホウレンソウの売り上